2027春M3頒布予定
ボイスドラマ
「自称魔法少女ドジっ子しこりん」

企画・台本
とらこぷろじぇくと。
TORACO(PicoRi)

【魔法少女】
立花としこ(通称しこりん)
中学二年生
元気いっぱいのドジっ子
変態である
菜の花中学に通っている
手芸部
ビーム(雷)で悪魔と戦う
家族構成：母、父、弟



としこが登場するチャプター→①④⑤⑥⑦

涼風れいか
高校一年生
クールな美人
剣道部(エース)
睡蓮女子高に通っている
剣(光)を使って悪魔と戦う
家族構成：母、祖母



れいかのサンプルセリフ
①「時間があまりないわ。行くわよ。二人とも。」
②「としこぉーーーーー！！！！(としこ（主人公）につっこむように)」

れいかが登場するチャプター→①②⑤⑥⑧

熟山(みのりやま)うづき
高校一年生
おっとり癒し系
バレー部(エース)
藤高に通っている
シャボン玉(水)を使って悪魔と戦う
家族構成：叔母



うづき、サンプルセリフ
①「私たち、友達なんだよ…っこんなことしたって意味ないよ…！！」
②「ふぅ…ふぅ…うれ、しい」（致命傷を負っているシーン）

うづきが登場するチャプター→①③⑨

【悪魔】
仙狸(黒井せんり)
睡蓮高校に転校してくる
クールなイケメン
猫に化けられる
剣で戦う
少年のようなボーイッシュな声



せんり、サンプルセリフ
①「…ふん…おもしろいやつだ、…戯れ言は不要。覚悟！」
②「ぐ、ふ、ぅ…もっと普通におまえとは出会ってみたかったな」（致命傷を負って苦しそうに、でも優しく）

せんりの登場するチャプター→①②⑤⑩

ホワイト・ローズ(白井のばら)
藤高に転校してくる
どこか影のある美少女
鎌で戦う

のばらの登場するチャプター→①③⑪



キョウチクトウ
色っぽいお姉さん
冷酷にみせかけたウブな方
鞭で戦う

キョウチクトウの登場するチャプター→①④⑫



ヴィーラ
大悪魔→元は妖精(最後の生き残り)
見た目は可憐
超次元人類を複数吸収することによって膨大な力を持っている。



ヴィーラ、サンプルセリフ
①「あなたはその少女が死んだときに契約して身体をもらった、そうでしょ？」（少し冷たく）
②「私は、ただ、あの楽園に還りたかった…だけ…一人ぼっちが寂しかっただけ…」
（せつなげに）

ヴィーラの登場するチャプター→⑤⑥⑬

↓ここから台本
―――――――――――――――――――――――――――――――――――
チャプター①「戦闘開始」

急ブレーキ音

としこ「私は、その日車にぶつかった。確かにその記憶だけはある。…でも目を背けてきた」

――------------------------------
悪魔のアジトの前で話すとしこ、うづき、れいか

としこ「ついにここまできたね…！！」

うづき「ここに悪魔が…」

れいか「時間があまりないわ。行くわよ。二人とも。」

としこ「あ、待ってよお。れいかさーーーん！！」

――------------------------------------
ぴちょんぴちょん(雨粒の音)

れいか「…行き止まり。」

としこ「何か隠し通路があったりして。どきどき。」

ぽちっ
壁が一部ボタンのようにへこむ。
としこ「およ？」

がらがらがら

れいか「ちょっと！なにしたの、としこ！！」

としこ「あわわわわ…っ」

れいか「ぐっ…！」

うづき「としこちゃん！れいかちゃん！」

下に落ちていく三人。

としこ「うーーーーわぁーーーーーー」

うづき「きゃぁぁぁぁぁぁぁぁぁ」

――--

れいか「…ここは…二人は…」

せんり「俺の相手はおまえか」

れいか「…なるほど、分散されたってわけ」

れいか「やっぱりあなた、悪魔だったのね」

せんり「…気付いていたのか」

れいか「学園で目立っているはずなのに、誰もあなたのこと詳しくは知らなかったもの」

せんり「…ふん…おもしろいやつだ、…戯れ言は不要。覚悟！」

れいか「…！」

せんりがれいかに迫ってくる音

――――――――――――――――――――――――――――――――
ぴちょん(水の落ちる音)

うづき「な…んで…」

のばら「……」

うづき「のばらちゃん…」

のばら「私はホワイト・ローズ。あなたを殲滅(せんめつ)します。」

うづき「私たち、友達なんだよ…っこんなことしたって意味ないよ…！！」

のばら「…」

キィ…(のばら鎌をとりだす)

のばら「殲滅します」

ブォン(鎌をふる音)

――――――――――――――――――――――――――――――――
かっかっ(キョウチクトウのヒールの音)

キョウチクトウ「あなたが私の相手？」

としこ「…っ！！！！！」

キョウチクトウ「あら、こわくて声も出ないかしら？」

としこ「……な、…ん…」

キョウチクトウ「いいわ。すぐに楽にしてあげる」

としこ「…最高すぎる…」

キョウチクトウ「……は？」

としこ「そのお胸は！！！！！！何カップですかぁぁぁぁぁぁぁ！？！？！？！」

キョウチクトウ「ーーー！？」

(としこ163文字、れいか123文字、うづき73文字、せんり42文字、のばら35文字、キョウチクトウ48文字、合計484文字)

―――――――――――――――――――――――――――――

チャプター②「戦闘(れいかVSせんり)」

カキンカキン(お互いの剣がぶつかり合う)

せんり「早くヴィーラ様のものになれ」

れいか「遠慮するわ」

カキン、ずさっ

両者離れる

せんり「おまえに拒否権などない」

れいか「あなた、戯れ言は不要って言ってなかった？」

せんり「…これで決める」

れいか「…」

ぐぐぐぐ…(せんりの剣黒くなっていく)

れいか「(剣が黒くなっていく…？)」

れいか「ならこちらも…」

きぃぃぃぃぃ…(れいかの剣が光る)

せんり「…ふっ！」

れいか「…はぁ！」

タンッ(両者接近)

ガキンっ
バチバチバチバチ

れいか「ぐ…っ」

れいか「…っ！」

ガキンっ

ぶわっ(れいか吹き飛ぶ)

ダンっ(れいか壁にぶち当たる)

れいか「か…は…！！」

ガラガラ…(岩の破片が落ちる音)

スタスタ(せんりの足音が近づいてくる)

ぎち…(せんりがれいかを踏みつける)

れいか「…ぐ…ぅ…！！」

せんり「…」

せんり「…おまえ、なぜ生身でたたかっている」

れいか「…」

せんり「…力を持っていないのか」

れいか「…残念だったわね…あなたのボスには不必要ね」

せんり「その剣に力をこめているのか」

れいか「…だったらどうするつもり？」

せんり「その剣だけでも貰っていく」

れいか「…私は殺す価値もないってこと……そう…」

せんり「近々ヴィーラ様が世界を滅ぼす。その時まで眠っていろ」

れいか「…あなた、意外とおしゃべりね」

せんり「…」

れいか「助かったわ」

せんり「何を…言っている」

ガチャンガチャン(れいか、身体の重りを解除)

ぶわっっ(風圧)

せんり「おまえ、何をしている」

れいか「これ、私の制御装置なの」

しゅっ(れいか素早い動き)

せんり「！？」

どっ(れいか仙狸を蹴り上げる)

せんり「ぐ…ぅ…！！」

ドサ(仙狸が倒れる)

カランカラン…(仙狸の剣が落ちる)

―――――――――――――――――――――――――

れいか「…なんとかなったわね。」

ずき(れいか痛みに顔を歪ませる)

れいか「…っ」

れいか「早く二人も元へいかないと…」

れいか「うづき…としこ…！」

(れいか197文字、せんり140文字、合計337文字)

―――――――――――――――――――――――――

チャプター③「戦闘(うづきVSのばら)」

カキンカキンカキン(うずきの杖とのばらの鎌がぶつかりあう)

うづき「のばらちゃん、とまってぇ…！」

のばら「その名前で呼ばないで」

うづき「だって、のばらちゃんは、のばらちゃんだもの…っ！！」

のばら「…っ」

のばらの攻撃を躱しながらうづきが問う

うづき「ねえ…！…んっ！私には、ん、ぅ！のばらちゃんが苦しそうにみえる、の！」

のばら「気のせい、よ」

うづき「ずっと、みてきたもの！読書が、大好きな、のばらちゃん！クールで、んっ大人っぽいけど、ほんとは可愛いものが大好きな、のばらちゃん！」

のばら「なにがいいたい、わけ」

うづき「そんな日々が、大好きだったのばらちゃん！！！」

のばら「！！！」

鎌の動きがとまる

うづき「ほんとは、こんなこと、したくないんだよね…？」

のばら「私…は…」

どくん！(ヴィーラの呪い)

のばら「…う…」

うづき「のばら、ちゃん…？」

のばら「やめて…それ以上何も言わないで！」

うづきがのばらに近づく

うづき「のばら、ちゃ…」

のばら「だめ、きちゃだめ！」

ズシャ(うづきが致命傷を負う)

うづき「ひ、ぁ、ぁぁ…！！」

のばら「あ…ぁ…っ」

のばら「うづき…！！！！」

ふらふらになりながら立っているうづき

うづき「ふぅ…ふぅ…名前、呼んでくれたね。」

のばら「…っ」

うづき「嬉しい…」

のばら「もう、しゃべらないで」

うづき「私、ね。のばらちゃんが、悪魔でも、何も、変わらないよ。友達であることは何も…変わらない」

のばら「……っうづき…っ」

のばら「わたし、は…ただ…！」

のばら「うづきと友達でいたかった」

うづき「ふぅ…ふぅ…うれ、しい」

のばら「……だから」

鎌の音

のばら「こんな力、いらない…」

ズシャ(羽を鎌で切る)

うづき、のばらに近づきながら涙を流す

うづき「のばら、ちゃ、どうして」

のばら「ふぅ…ふぅ…こう、すれば…もう…ほとんど、私の魔力、はなく…なる…」

うづき「血が…でて、る、よぉ…」

のばら「うづきの、傷に、比べたら、大したことない、よ」

うづき「う…うぅ…！」

どしゃ(のばら倒れる)

のばら「最初からこうすればよかった…ね」

うづき「う、うぅ…ひっく、のばらちゃん…わたし、は、まだ、あなたのことといっぱい、知りたいの…っ」

のばら「……」

うづき「のばら、ちゃん、」

のばら「生まれ変わった、ら…また、友達になってくれ、る…？」

うづき「！！…っ…なる、よ、絶対なる」

のばら「…ふ…ぅ…よかっ…た」

うづき「ふ、ぅ、う、ううう…うううう…！！！！！！！」

――――――――――――――――――――――――――――――

うづき「のばらちゃん…」

うづき「こんな悲しいこと、早く終わらせなきゃ…」

うづき「あ、れ、」

うづき「景色が掠れて…」

うづき「れいかちゃ…としこ、ちゃ…」

どさっ
カラン(杖の音)

(うづき443文字、のばら240文字、合計683文字)

――――――――――――――――――――――――――――――

チャプター④「戦闘(としこVSキョウチクトウ)」

ひゅうううう…(風の音)

キョウチクトウ「…あ、あなたは、なにを言ってるのかしら…？」

としこ「だってあなたのその身体、、私、、私ィ、、私のとしこがしこりんしちゃいます！！！」

キョウチクトウ「（…何を言っているかわからないわ…）」

としこ「あと、その武器！！鞭…ですよね…？」

キョウチクトウ「…そうよ」

としこ「それで攻撃してくるんですよね…？」

キョウチクトウ「……そうよ」

としこ「…っ！〜っっ！！ぜひっお願いします！！」

キョウチクトウ「！？」

キョウチクトウ「…この鞭には、魔力がこもっていて、生気（せいき）を奪うのよ。強がっているのも今のうちよ。いつしか生きる意味もわからなくなるくらい精神がズタズタになるわ」

としこ「ひと思いに！！！さあ！！さあさあ！！！！」

キョウチクトウ「（このこ……）」

キョウチクトウ「（やりにく…！！！！）」

かっかっかっかっ（ヒールの音）

キョウチクトウ「後悔させてあげる！！！」

ひゅっ(鞭に音)

ばしぃっ(鞭が弾かれる)

キョウチクトウ「！？」

キョウチクトウ「（鞭を身体で弾かれた…！？…いや触れる前に何かでガードされていた…！？）」

としこが顔をあげようとする

キョウチクトウ「（…まさか、このこ、私を油断させといて…！！）」

ばっ（としこからキョウチクトウが離れる）

としこ「…ん、あれ？えっちなお姉さん？何でそんなに遠くにいるの？」

キョウチクトウ「（…このこ、絶対何か隠してる…私たちのアジトまで来れるくらいだもの…）」

キョウチクトウ「（こうなったら…）」

キョウチクトウ「…あなた、強いのね」

としこ「え！？そんなことはないけど…」

キョウチクトウ「わたし、強いこが好きなの」

としこ「え！？！」

キョウチクトウ「…すきになっちゃったみたい」

としこ「なんですって…！？！？」

キョウチクトウ「ねえ、あなたに触れてみたいの」

キョウチクトウ「だめ…かしら？」

としこ「も、…も、…」

キョウチクトウ「（……）」

としこ「もちろん大歓迎です！！！ありがとうございます！！！」

キョウチクトウ「…よかった」

としこ「さあ、今度こそ、さあさあ！！！」

キョウチクトウ「鞭はここに置いとくわ」

としこ「え？使ってくれてもいいんですよ？」

キョウチクトウ「好きな人を傷つけるわけないじゃない」

としこ「お姉さん…」

かっかっ（としこに近づくキョウチクトウ）

キョウチクトウ「さあ、目を閉じて」

としこ「…っなにを、するんですか…」

キョウチクトウ「すぐにわかるわ…」

としこの頬に手をあてるキョウチクトウ

キョウチクトウ「…」

としこ「（…っこ、これはまさか、き、き…！？！？）」

キョウチクトウ「（私の体内には人間にはたえられない猛毒が広がってる…）」

キョウチクトウ「（ちょろいわね…）」

としこ「（やばい…お姉さんの身体が密着して…む…胸が身体にあたって……こんな…こんな…！！！！！）」

としこ「（あまりにもえっちすぎるうううううううううう！！！！！！！！！）」

カッ（としこ発光）

キョウチクトウ「！？！？な、に、きゃあああああああ！？！？」

――------------------------

ガラガラ（岩が崩れる音）

としこ「え、お姉さん…？？！」

とててててて（としこが飛ばされたキョウチクトウに近づく）

としこ「……」

としこ「気絶してる…」

としこ「…はっ、二人と早く合流しなきゃ！！」

とててててて（キョウチクトウから離れる）

としこ「…おっと」

とててててて（キョウチクトウに再度近づく）

ぱふぱふ（キョウチクトウの胸を触るとしこ）

としこ「ありがとうございます」

とててててて（キョウチクトウから離れる）

としこ「二人ともお～！！」

（としこ397文字、キョウチクトウ405文字、合計802文字）

――---------------------------------------

チャプター⑤「最終決戦」

タタタタタっ（走る音）

としこ「あっれいかさーん！」

れいか「としこ、無事だったのね」

としこ「最高な時間を過ごしてきました」

れいか「…？まあいいわ。うづきを探しましょう」

としこ「うん！」

タタタタタ（としことれいかの足音）

タタ…タ（足音が止まる）

としこ「なんか、広い場所に出てきたね」

れいか「……」

ヴィーラ「きたのね」

れいか「大悪魔…ヴィーラ…」

としこ「…っ」

ヴィーラ「この日を待っていたの」

れいか「……私もよ」

としこ「…どすけべ悪魔じゃなかった…(小声)」

れいか「…」

としこ「そんなの！！！たえられなーーーーーーーーーーーーい！！！！！！！」

パアアアア

ぼいんっっ（ヴィーラの胸が大きくなる）

ヴィーラ「…」

としこ「よし、Hカップくらいになった。これでどすけべ悪魔と戦える。至福。」

れいか「としこぉーーーー！！！！(つっこむように)」

ヴィーラ「あなた、もしかして…」

どっ(れいかが吹き飛ぶ)

れいか「ぐ…あ！！！」

としこ「え…？」

としこ「れいかさん！？」

ヴィーラ「その力、超次元人類ね。」

としこ「…ちょうじ、げん？」

ヴィーラ「あら、あなたもしかして気付いてなかったの？」

ヴィーラ「あなたは、超次元人類の魂でしょ？」

れいか「超次元人類って…たしか、私たちの祖先…」

ヴィーラ「あなたはその少女が死んだときに契約して身体をもらった、そうでしょ？」

車の急ブレーキ音

ドンっとぶつかる音

としこ「…ちがう、よ、私は立花としこ…」

ヴィーラ「超次元人類は、契約した人間と記憶の共有ができる。あなたは、立花としこになることにしたのね。」

としこ「…ぁ…ああ…っ」

れいか「としこ…！？」

としこ「私、は、私は…、だれ…？」

れいか「ぐ…しっかりしてとしこ…！悪魔の言葉になんて…惑わされないで！」

としこ「れいか、さん…でも…」

れいか「私が知ってるのはあなたという立花としこ…。今までたたかってきた記憶まで偽物にするつもり！？」

としこ「…！」

フラッシュバックする音

としこ？「(お願いね…！)」

としこ「…思い出した。わたし、言われたんだ。立花としこの魂が消える前に…」

としこ「立花としこの周りのみんなを悲しませないでほしいって」

としこ「だから、母さんも、父さんも、弟も…いつも通り笑ってて…だから…」

ヴィーラ「でもあなたは立花としこじゃない」

としこ「…そうだね…」

としこ「…でも」

としこ「私は、このこと約束したから。みんなの笑顔のために、あなたとたたかう」

ヴィーラ「そう…残念だわ…」

としこ「必殺！！！！！！」

としこ「しーこーしーこー！！！！！」

としこ「キューティーキャノン！！！！！」

バチバチバチ

としこ「ぐ…っっ」

ヴィーラ「私は妖精だった。そして超次元人類と契約した。…私の願いは、この世界を滅ぼすこと。」

ヴィーラ「人間が憎い。」

としこ「ぐ…っふ、ぅ…！！！！！」

ヴィーラ「あなたの力が手に入れば、準備が整う」

ヴィーラ「私のものになりなさい」

ヴィーラの力が強くなって、としこを圧倒する

としこ「…ん、ぐあああああ！！！！」

ひゅうん（としこが飛ぶ）

どがああん（としこ岩にぶつかる）

ヴィーラ「終わりね。」

れいか「としこ…！」

タタタタタ（れいか走る音）

れいか「はあ…！！」

れいか剣を振ろうとするが違和感

れいか「（…っ剣の力が…）」

ヴィーラ「あなた、邪魔」

れいか「……ぁ…」

だだだだだ（せんりが走ってくる）

ずしゃ（せんりがれいかを庇って致命傷）

せんり「ぐ、ふ」

れいか「……あなた…なんで」

せんり「……なんで、だろうな」

れいか「あなたが私を庇う必要なんて…なにも…」

せんり「……」

せんり「…あんたは俺と似てたから」

れいか「…え？」

せんり「俺も半端者だったから…」

せんり「ぐ、ふ、ぅ…もっと普通におまえとは出会ってみたかったな」

れいか「…あなた…」

せんり「ほんとは…俺…おまえのこと…」

きぃぃぃぃぃ（光の音）

どがん（破壊する音）

ヴィーラ「…情がうつるなんて、ばかなこ」

ヴィーラ「あなたも消えなさい」

れいか「…！」

としこ「させないいいいい！！！！！！！」

ドギュン（としこのビームの音）

としこ「れいかさん下がって！！」

（としこ401文字、れいか224文字、ヴィーラ281文字、せんり79文字、全985文字）
ここまで本編3291文字
―――――――――――――――――――――――――――――――――――――――

ひゅうううう…（風の音）

としこ「さっき、言ってたことほんとなの？」

としこ「世界を滅ぼすって…」

ヴィーラ「ええ」

としこ「いいの！？あなたは、一度あった過ちを繰り返すの！？」

ヴィーラ「…」

としこ「確かに人間は、酷いことをしたかもしれない。だけど、それであなたも同じことをしたら、あなたの心は救われる？」

れいか「…としこ…」

ヴィーラ「黙りなさい」

としこ「そんなの…たえられない…私は…私はあ…！！！！」

としこ「あなたの心も救ってみせる！！！！！」

としこ「キューティーキャノン！！！！」

ドギュン（ビームがとぶ）

ヴィーラ「何回やっても無駄よ」

バチバチバチ（ぶつかり合う）

としこ「…っ」

としこ「あなたの瞳の奥にある本当の景色…わたしにも、みせて！！！！！」

ヴィーラ「…私は、人間を滅ぼす、だけ」

としこ「みせて！！！！！！！」

パアアアっっっ

ヴィーラ「！…やめなさい…っ」

としこ「ふ、みえる、、、みえるよ」

ヴィーラ「やめて、、、、」

としこ「あなた、優しい方だったんだね」

ヴィーラ「…うるさい…」

ヴィーラ「…やめなさいといっているでしょう！」

ヴィーラ力が強くなる

としこ「…ぐ、ぅ、、、大丈夫だよ」

としこ「私は、あなたを肯定する」

ヴィーラ「いやよ、私は、私は…っ」

としこ「わたしが、そばにいる！！！！！」

ヴィーラ「！！！！」

ぱあああああああああ（としこの光がおおきくなる）

れいか「…いけない、こんな、、、としこぉーーーーーーー！！！！！」

としこ「れいかさん…」

どがあああああああああん

(としこ268文字、ヴィーラ82文字、れいか32文字、全382文字)
本編3673文字
―----------

チャプター⑥「戦いの果てに」

？の世界で浮かぶヴィーラととしこ

ヴィーラ「いつしか…最初の願いを忘れていた…」

ヴィーラ「私は、ただ、あの楽園に還りたかった…だけ…一人ぼっちが寂しかっただけ…」

としこ「へへっじゃあ、私がいるならなにも問題ないよね！」

ヴィーラ「…」

ヴィーラ「あなたの心は、眩しいわね」

としこ「へへへっ」

ヴィーラ「こんな人がいるなんて…知らなかった…」

ヴィーラ少し笑う

ヴィーラ「…だからこそ、こんなところへいちゃ駄目ね…」

としこ「…？」

ヴィーラ「あなたには待っている人がいるでしょう」

としこ「ヴィーラ、さん…？」

ヴィーラ「私はただ、還りたかった、だけなの」

ヴィーラ「だから、さよならね」

としこ「…！待って！！私はあなたを…！！」

ヴィーラ「…ありがとう。立花としこ」

ヴィーラ「この世界を、よろしくね」

ぱあああああ（光がとしこを包む）

としこ「…！！！！ヴィ、ヴィーラさあああああああん！！！！！！」

ひゅん（闇に吸い込まれる）

―――――――――――――――――――――――――

としこを抱き抱えるれいか

れいか「…しこ、としこ！！！」

としこ「れいか、さん…？」

れいか「…っよかった…」

としこをれいか抱き締める

としこ「んえ！？！れいかさんっ！？！ちょ、、へ、へへへ、幸せな圧迫感」

れいか「…もう、相変わらず台無しにするのがうまいんだから…」

としこ「…この世界の闇はまだまだある気がするんだ…」

れいか「…そうね」

としこ「だから、わたしは、全部救ってみせる。」

れいか「…としこがそういうんなら、私も黙っちゃいられないわね」

としこ「！」

れいか「私もやるわ」

としこ「れいかさん！！」

れいか「それはそうと、、、うづき、探しにいかなきゃ」

としこ「はっっ！！！うづきちゃん！！！！」

ばっと起き上がる

としこ「いこっれいかさん」

れいか「そうね。」

（としこ189文字、れいか102文字、ヴィーラ170文字、全461文字）
本編4134文字
―――――――――――――――
Fin

【おまけのどじしこシチュボ。】

チャプター⑦としこのシチュボ（弟視点）
（271文字）

こら！
なにやってるの！！

ちゃんとパンツ履きなさい！
もう小学生でしょ！！

この爽快感がたまらない！？

捕まるよ！？

お姉ちゃん、まじでしらないからね。

はあ、、、早くお姉ちゃんを安心させてほしいよ、、、

…え？私が女の子の胸を揉んでいるところをみた…っっ！？

えっあんた、あそこにいたの！？

……え、必殺技叫んでるのも知ってる…？

言わなくていい！
いま言わなくていいから！！！

…そう。
わたしね。悪魔とたたかってるの。

…誰にも言っちゃだめだからね。

お姉ちゃんとの約束。わかった？

にひっ
よし！！！！

じゃあ、そろそろ…
宿題、一緒にしよっか

あ、こら！逃げるなあー！！！

チャプター⑧れいかのシチュボ（壁視点）
（ガヤガヤ、昼食の時間）（233文字）

…ん、どうしたの。

豆乳？

だって身体にいいじゃない。

結構好きなのよ。

…ん、あむ。

んぐんぐ…

ん、なに。

毎日唐揚げ？

…結構好きなのよ。

（扉の音）

……ただいま

（階段を上がる音）

（扉の音）

……。

豆乳、唐揚げ、ずっと食べてきたけど…。

何も変化ないわ…。

何故なの…。

私はいつまで偽ればいいの…。

……ふう。

もういいわ。

何か音楽でも聞こうかしら。

（スマホをいじる音）

……！…大きくなる、サプリ。

だめよ。どうせ、罠。

こんなの…デタラメよ…っ

私は涼風れいか。剣道部のエース。

いつだって冷静に…

ふう……

…ご購入ありがとうございました、か……。

チャプター⑨うづきのシチュボ（バレー部の先輩視点）（239文字）
（うづき、更衣室で着替える）

あ、先輩、おつかれさまです！

ふうー、、熱いですね、、

よい、しょ

ん、、どうしました？

大きくって羨ましいって、、、

えっ、え！？

ちょ、そんなにあんまりみないでください…！

…それに、あんまりいいことないです、、

アタック打ちにくいですもん、、、

あ、、！！あの、、！この話やめましょう！

なんでって…

（先輩…なんでこんなに嬉しそうなんだろう…）

えっ！？
ちょ、
さわらないで、くださ、あ、いやあ！！！

（扉が勢いよく開く）

みんな…！！

（先輩がボコボコにされる）

ぁ、あ、先輩が、、、っ

私を、守る、親衛隊、、、？

よくわからないけど、、ありがとう、、？

チャプター⑩せんりのシチュボ（せんりのことが好きな女の子視点）（196文字）

君かな。俺に手紙くれたの。

用件は、なに？

……。

そっか。

ありがとう。気持ちは嬉しい。

…けどごめん。君の気持ちには答えられない。

理由、か。

うん…俺さ、好きな人がいるんだ。

話したこともない人だけどね。

俺のことなんて知らないだろうし。

…だめだな。
君みたいに告白する勇気がない。

臆病者だよ。俺は。

え、応援する？

ふふ、…なんだか、君は不思議なこだな。

ありがとう。

あ、呼ばれているから、行くね。

……またな。

チャプター⑪のばらのシチュボ（猫視点）（189文字）

…あ。ねこ。

……。

（猫の前でしゃがむ）

……。

ちっちっ

おいで。

こわくない。

おいで。

……にげちゃった。

（小声で残念そうに呟く）

……もふもふしたかった。

……あ。

きみ。こっちおいで。

こわくないよ。

…！

……きた……

…！足にすりすりしてきた…っ

……かわいい。

触っても…いいかな…

（手をのばす）

…….

…….

！！！

ふわふわ…

あったかい…

わ、ぁ、ごろごろ言ってる…

かわいい…

……あ、うづき。

そろそろいくね。

触らせてくれてありがとう。

またね。

チャプター⑫キョウチクトウのシチュボ(272文字)（社会人の女性視点）

ムーディーな音楽

カランとグラスの音。

「…そこ、いいかしら？」

カタン(いすに座る)

「マスターいつものやつお願い」

「…ねえ、あなた見ない顔ね」

「ふうん。」

「疲れた顔してる。あまり眠れていないわね」

耳元に近づいて

「ねえ。私が眠れるようにしてあげましょうか？」

「ふふ、照れてるの？かわいいわね。」

カクテルを飲む。

「……ん…」

「…ふう…」

「…あら、どうしたの？私のことそんなにじっとみて」

「…きれい？」

「もしかして口説いてる？ふふ、おませさんね。」

「…あら、怒ってる…？そうね。ごめんなさいね。あなた、こんなところきてるんだから、もう、立派な…、おとな、ね？」

「お酒がまわってきたみたい。一緒に夜風でも当たらない？」

「いきましょう」

パタン(扉の閉まる音)

「マスターいつものお願い」

「最近こない？」

「…そう。」

「いいこだったのに、残念ね…？」

チャプター⑬ヴィーラのシチュボ（妖精だった頃の思い出）

（川で水浴び、ヴィーラ背伸びをする）

んーっ

気持ちいいーっ

やっぱり天気のいい日は、水浴びよね！

あ！

あなたも一緒にどう？

こっちにいらっしゃい。

（ぱしゃ…水の音）

あなた、みない顔。
どこからいらっしゃったの？

…そうなの！

私はずっとこの楽園から出たことないから新鮮だわ。

…人類？

はじめてきく言葉ね。

どんな方たちなの？

…へえ、面白いことを考えるのね。

わたしも一度あってみたいわ。

お友達になれるかしら？

…ふふ、そうね。

この世界の命は全て尊いもの。

きっと仲良くなれるわよね。

【合計文字数】
としこ（本編1418文字、シチュボ271文字、全1689文字）

れいか（本編678文字、シチュボ233文字、全911文字）

うづき（本編516文字、シチュボ239文字、全755文字）

せんり（本編261文字、196文字、全457文字）

のばら（本編275文字、189文字、全464文字）

キョウチクトウ（本編453文字、シチュボ272文字、全725文字）

ヴィーラ（本編533文字、シチュボ202文字、全735文字）

全5736文字

【設定補足】

・超次元人類

高次元にいる知的生命体。
3次元の世界からは観測できない。

・妖精

4次元にいる生物。
3次元の世界からは観測できない。
ヴィーラがその一人。（ただし、ヴィーラは超次元人類と契約しているため、どの次元にも姿を現せるようになっている。）

・悪魔

ヴィーラが超次元人類と契約した力で生み出した3次元の生物。のばら、せんり、キョウチクトウなどがそれに含まれる。

・れいかとうづき

超次元人類と3次元の魂(れいかたちの祖先)が契約して、その子孫がれいかとうづきにあたります。
3次元の魂というのは、何か理由があって(事故や病気など)でなくなった人間のことで、魂(4次元)となることで、超次元人類と契約できるようになっています。
超次元人類に詳しく触れるのは、今後の作品となってしまうのですが、簡単に説明すると、
3次元の魂→超次元人類に身体をあげる変わりに、願い事を叶えてもらえる。(家族とずっと仲良くしててほしい、等)
超次元人類→自由のある世界で生きてみたいと思って3次元に降りたっている。ただし願い事を叶えない場合は、消滅するデメリットがある。